

会 報

vol.1 創刊号



一般社団法人
日本チベット仏教および
チベット文化の芸術交流センター

2026年1月発行

創刊にあたって

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当法人の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、かねてより準備を進めておりました会報を創刊する運びとなりました。これもひとえに、皆様の温かいご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

当法人は、京都の歴史的遺産とチベットの精神文化という二つの聖地が織りなす、新たな学術・芸術・文化交流の拠点を築くことを目指して設立されました。この会報が、会員の皆様と法人との絆を深め、活動の状況を広くお伝えし、さらにはチベット文化の深遠な魅力に触れていただくための一助となれば幸いです。

創刊号では、当法人の中心的な活動であります「仏教芸術復興」事業、特にチベット仏教芸術の至宝である「タンカ」について特集いたしました。また、先般開催いたしましたタンカ芸術展の報告も掲載しております。

まだまだ未熟な会報ではございますが、皆様に愛され、期待される情報誌として成長していけるよう、編集部一同、努力してまいります。今後とも、当法人の活動にご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

謹白

令和8年1月

一般社団法人日本チベット仏教および
チベット文化の芸術交流センター



仏教芸術復興

当会では、世界的にも高い評価を受けるチベット仏教チヨナン派（ジヨナン派）のタンカを中心とした「チベット仏教芸術展」を開催するなど、仏教芸術の復興と紹介に努めています。本特集では、その中心となるチベット仏教絵画「タンカ」の魅力と歴史的背景に迫ります。



タンカはチベット発祥の伝統的な宗教画芸術で、1300年以上の歴史があります。チベット仏教が隆盛を極めた時代に始まり、当初は仏教の教えを広めるために用いられました。初期のタンカは、僧侶が寺院や巡礼の際に携行していました。主に仏像、菩薩像、守護神像、宗教的な物語などが描かれ、深い宗教的意義と芸術的価値を併せ持っています。

タンカの制作には、チベット文化の伝統と中国、ネパール、インドなどの芸術的影響が融合しています。その技法は独特で複雑であり、天然の鉱物顔料を使用することで、鮮やかで長持ちする色彩を生み出しています。

時が経つにつれ、タンカは徐々に寺院の域を超え、チベット人の日常生活の重要な一部となり、家族の礼拝、祝福、装飾などに用いられるようになりました。今日、無形文化遺産であるチベットタンカは、チベット文化の象徴であるだけでなく、世界がチベット仏教芸術を探索するための窓でもあります。

チヨナン派タンカの芸術性

時が経つにつれ、タンカは徐々に寺院の域を超え、チベット人の日常生活の重要な一部となり、家族の礼拝、祝福、装飾などに用いられるようになりました。今日、無形文化遺産であるチベットタンカは、チベット文化の象徴であるだけでなく、世界がチベット仏教芸術を探究するための窓でもあります。

なかでもチヨナン派のタンカは、綻密な線描と深い象徴性、美しく調和した色彩によって極めて高い芸術性を持ち、世界の美術館・研究機関から大きな注目を集めています。

本展では、チベットから僧侶をお招きし、タンカの実演、象徴体系の解説、砂曼荼羅制作の工程紹介、瞑想レクチャーなどのワークショップも企画しております。宗教芸術の深い精神性に直接触れられる貴重な機会となります。



十一面観音は、人々を救うためにさまざまな表情を持つ観音菩薩の姿だ。十一の顔は、人の心の成長や悟りへの道のりを表している。八本の腕に持つ法具は、人々を導き、守る力を象徴している。



時輪金剛は、時間と宇宙の調和を象徴する仏である。複数の顔と多くの腕を持つ姿は、複雑な世界を調和へ導く力を表している。奥行きある表現が印象的である。



世界を守る四大天王の一尊で、鋭い眼差しが人々を見守る力を象徴している。細部まで丁寧に描かれ、物語性を感じさせる作品である。



姉妹護法は、強さと美しさを兼ね備えた女性の守護神だ。赤を基調とした色彩が印象的だ。



財宝天王は人々に豊かさや安心をもたらす神様である。細密な描写と柔らかな雰囲気の特徴だ。



黄財神は、物質的な豊かさだけでなく心の充実も与える存在だ。穏やかな表情が安心感を与える。

活動報告

「福德と智慧の源」タンカ芸術展を終えて

去る12月15日より3日間にわたり開催いたしました、『福德と智慧の源』（チベット仏教ジョナン派タンカ芸術展）は、おかげさまで無事に全日程を終了いたしました。

師走のご多忙中にもかかわらず、会場には100名を超える方々にご来場いただき、熱心にタンカを觀賞される皆様の姿に、杜代表はじめスタッフ一同、大きな喜びと手応えを感じることができました。

また、本展の開催にあたりましては、仏教界の専門紙である「中外日報」ならびに「仏教タイムス」より取材を賜り、私どもの活動意義を丁寧に取り上げていただきました。この場を借りて、深く御礼申し上げます。

会場での多くの貴重な出会いや、皆様からいただいた温かなお言葉は、私どもにとって何よりの財産となりました。始まったばかりの当センターではございますが、今回いただいたご縁を大切に、日本とチベットの文化・学術交流のさらなる深化を目指してまいりたいと考えております。

ご来場いただいた皆様、そして開催を支えてくださった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。



展示風景

開催概要

会 期：2025年12月15日(月) ～ 12月17日(水)

時 間：9:00 - 17:00

会 場：京都市勧業館みやこめっせ 美術工芸ギャラリーA室

来場者数：100名以上

会員の皆様へ

「会員の声」原稿募集

本会報では、会員の皆様からのご意見、ご感想、また活動への期待などのお声を募集しております。チベット文化への想いや、当法人の活動に参加された際の体験談など、自由なテーマでお寄せください。お寄せいただいた原稿は、次号以降の「会員の声」コーナーにてご紹介させていただく場合がございます。

皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。

宛先：

〒600-8111 京都市下京区都市町141-7 4F

一般社団法人 日本チベット仏教およびチベット文化の芸術交流センター 会報編集部
宛

メール：tibetanbuddhismjapan@gmail.com

入会のご案内

当法人では、活動を支援して下さる会員を随時募集しております。チベット仏教芸術や文化に関心をお持ちの方、日本とチベットの文化交流に貢献したいとお考えの方は、ぜひご入会をご検討ください。

会員の皆様には、展覧会への優先入場、会報の定期送付、各種イベントへのご招待など、様々な特典をご用意しております。

詳細はウェブサイト (<https://tibetart.club/>) をご覧いただくか、事務局までお問い合わせください。

事務局からのお知らせ

今後の活動予定

「福德と智慧の融合

～チベット仏教ジョナン（ジョナン）派タンカ芸術展～

会期 2026年1月24日（土）～2月22日（日）

時間 10:00～17:00

会場 ギャラリー富小路

〒600-8052 京都府京都市下京区師屋町83



京都の中心部で約1ヶ月間にわたり開催される本展では、ジョナン（ジョナン）派の貴重なタンカ作品を多数展示いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

ウェブサイトのご案内

当法人の最新情報は、ウェブサイトにて随時更新しております。展覧会情報、出版物、フェアトレード商品、研究助成など、各種事業の詳細をご覧ください。

<https://tibetart.club/>

SNSでも情報発信中 Facebook、Instagramでも活動の様子をお伝えしています。展覧会の舞台裏や、チベット文化に関する豆知識なども発信しておりますので、ぜひフォローをお願いいたします。

発行日 2026年1月13日

発行人 富山こたろう

編集人 富山こたろう

発行所 一般社団法人 日本チベット仏教およびチベット文化の芸術交流センター

〒600-8111 京都市下京区都市町141-7 4F

TEL: 075-204-0608

Email: tibetanbuddhismjapan@gmail.com

URL: <https://tibetart.club>